

もやせ、虹の原魂！

高等部(第 18 回)体育祭まで残り6日となりました。4月に入学した1年生も練習に汗を流し、集団行動をとおして、協力・信頼・友情の心も磨いています。「ただやるか、最高をめざしてやるか」で取り組む姿勢や意欲が大きく変わってきます。特に、上級生の皆さんには、最高をめざして高等部全体をリードしてくれることを大いに期待しています。

『もやせ、虹の原魂！ 今こそ紅白決闘の時』

今年のスローガンです。今年初めて選抜種目の「紅白対抗選抜リレー」が加わりました。スローガンからも子どもたちの気持ちがよく伝わってきます。ぜひ本番を楽しみにしていただき、子どもたちへの熱いご声援をよろしくお願いいたします。

GW 連休明けてすぐのエピソードを一つ紹介します。私が、高等部棟の玄関付近から体育祭の練習を眺めていました。すぐそばで、一人の生徒が、なかなかグラウンドに気持ちが向かず、担任の先生方の励ましを受けて何とか運動靴を履こうとがんばっていました。原因は、きついからではなく、その直前の出来事で、気になっているもの(こと)や、気に入っているもの(こと)へのこだわりから次の行動に移れない、気持ちを切り替えられない状況にあるのでは、と教えてもらいました。こうした場合、無理に靴を履かせたり、行動を促したりすると、子どもからすれば不安が一層増大させられることになり、パニック(著しい情緒不安定)に至ることも少なくありません。

先生の一人が、生徒が気になっていると思われるカゴ入りのプラスチック・ボールを教室から持ってきて、「ボールはある」ということを見せて、知らせて、不安な気持ちを和らげて落ち着かせようと、時間をかけて丁寧に対応されていました。「ボールがあった」と安心した生徒は、ボールと一緒に先生とグラウンドへ走り、練習に合流することができました。特定の意識や行動を無理にやめさせるのではなく、本人が納得して次の行動に移ることができるように段階的に意識を切り替えていった素晴らしい指導の場面でした。

私のそばでもう一人、たまたま別の生徒の保護者が一連の様子を見守っておられました。そして、私にポツリとおっしゃいました。

『いい場面を見せてもらいました。今日の天気のように晴れ晴れした気持ちになりました。知恵と忍耐ですね(笑)！』



『令和7年度 学校経営方針』で、今年度の重点取組事項の一つに「④児童生徒の特性に配慮した個別最適な学びの実現 -自閉症児への指導に関する研修の充実と専門性の向上-」掲げています。

「聞く力」、「創る力」、「繋がる力」を大切にして魅力ある虹の原の教育を展開する

- 「R7年度 学校経営方針」でめざす！ -